

津山市第5次総合計画 分野別懇談会の様子と意見要旨 ～現場から津山の未来を考える！～

日時 平成27年2月6日(金) 15:00～ 場所 津山市役所 大会議室
テーマ 健康・福祉 参加団体数 18団体

市長あいさつ



会場の様子



福祉の現状等がしっかり伝わっています



お一人おひとりのご意見・ご提言を大事にしていきます



女性の方のご意見は、生活に密着した大事なご意見です



みなさんの真摯なご意見をいただいています



みんなで考えて将来の津山市へつなげていきましょう！





分野別懇談会（健康・福祉）での
みなさんからの意見・提言です。

子育て施策は、顔の見える関係が築かれており、きめ細かなサービスの継続を！
若者世代を集めるためには、教育や交通が重要
介護を支える人材の確保のためにはイメージアップも必要
住み慣れた地域で暮らせる体制を整備するために、分野を超えたネットワークづくりを！
高齢者、生活困窮者、子育てなどを、地域で支えるために、地域の中に出て行き、
地域と関係者と行政をつなぐ役割を果たしたい
歴史と文化を生かした観光で津山を元気にするために協力したい
高齢者が知識や経験を生かし、生きがいを持てるような、地域貢献や仕事づくりの
場を！
支える側（若い世代）の意見を聞き、取り入れてほしい
陳情・要望から自律へ。自ら考え行動し、生産することが生きがいになる
子育てのしやすい環境づくりは、まちの活性化につながる
子どもを中心に置いて、子どものために、という視点での施策を！
地域を支える役割が、ボランティアで責任も重く、過重な負担になると、なり手が
減ってしまう
全世代で地域の福祉を支えていく意識付けのきっかけづくりを！
一人ひとりの可能性をどこまでも信じて支援する考え方で
今の60代、70代は、以前に比べて元気であり、高齢者の定義を見直しては
ハコモノよりも、心で支えるしくみを

犯罪などについても、幼児期からの教育が重要

日常の一部として、当たり前ボランティアに取り組める環境整備を

若い人が参加できるような活動を増やし、PRすることで、若い人と地域の人との心のつながりが生まれるのでは

人口減少は、支える人と財源の減少を意味するので、無償ボランティアと有償サポーターと仕事を組み合わせ、持続可能なしくみづくりを

など、多くのご意見が、活発に出されました。

参加された皆さん、大変お忙しいところありがとうございました。

